

元気な まちかど



1 ゆうゆう水口クラブによる奉仕作業

汗を流して草刈り

6月17日、ゆうゆう水口クラブによる草刈りなどの奉仕作業が行われました。

この奉仕作業は、施設を利用される方々にいつでも気持ちよく使っていただけるようにと、草木が伸びるこの時期に毎年実施いただいています。

夏の日差しが照りつけるこの日、あいこうか市民ホールと水口図書館周辺の草刈りや植え込みの手入れに汗を流す会員の皆さんの姿と、すっかりきれいになった庭や木立に、入館者の感謝の笑顔がみられました。



▲奉仕作業に取り組む会員の皆さん

2 菊の会巡回公演

日本のおどりに触れる

「文化芸術による子供の育成事業」として、舞踏集団菊の会による巡回公演が6月17日、柏木小学校で上演されました。

舞台芸術を鑑賞することにより、児童の発想力やコミュニケーション能力を育むことが狙いで、公演では優雅な舞踏の他にも、着付け体験や楽器紹介など、伝統芸能に親しむコーナーも設けられました。

フィナーレでは4年生全員が、事前に練習した華麗な踊りを菊の会メンバーと一緒に披露し、会場は大きな拍手に包まれました。



▲菊の会メンバーと踊る4年生

3 news

高齢者へ交通安全啓発

反射材で夜道も安全に

セーフコミュニティ交通安全対策委員会が6月19日、甲賀町大原市場地先のスーパーやコンビニエンスストアで、高齢者に反射材を配布しました。

この啓発は、夜間に道路を横断中の高齢者の交通事故が増加していることから、反射材を身に着けることでドライバーの注意を促し、事故を減らすことが狙いです。

反射材はシールタイプで、靴の側面に貼れるようになっています。当日はその場で貼りつけてもらい、夜道を歩く際の注意を呼びかけました。



▲靴に反射材を貼る高齢者

4 news

鈴鹿馬子唄全国大会

のび自慢の唄響く

第24回鈴鹿馬子唄全国大会が6月21日、あいの土山文化ホールで開かれました。

地元をはじめ県内外から集まった、少年少女36人、一般96人の計132人が、自慢の唄声を競い合いました。また、土山の4小学校児童による合唱も披露され、馬子唄の力強い唄声が終日会場に響きわたりました。

市内の入賞者 (敬称略)	○少年少女の部
4位	小西 風道
5位	岡田 護
6位	中村 栄
7位	杉本 直
8位	奥村 小直
9位	馬場 史仁
○一般若年の部	
3位	田中 千鶴
○一般高年の部	
3位	倉繁 征吾



▲馬子の衣装で合唱する小学校児童

5 news

TUNAGARU会 カラーセラピー

色を通して自分をみつめる

6月25日、甲南第一小学校でTUNAGARU会が「心をほぐすHAPPYカラーセラピー」を開催しました。

TUNAGARU会は、子どもの成長とともに減ってしまつていく母親同士のつながり・出会いの場を作ることを目的に、年間を通してさまざまな活動を展開されています。

この日は講師にカラーセラピストを招いて、色の持つ意味を学び、実際にセラピーを体験しました。参加者は、色の効果を喜んだり子育てに役立てようと、熱心に聞き入っていました。

6 news 岡本太郎の言葉とともに展

信楽ゆかりの岡本太郎作品を展示

岡本太郎氏の芸術論をひもときながら陶芸の魅力を探る「土・祈り・イメージーション…岡本太郎の言葉とともに展」が、6月14日から陶芸の森で開かれています。

岡本氏は信楽と関わりが深く、数多くの作品が信楽を拠点に制作されています。大阪万博の「太陽の塔」の裏側にある「黒い太陽」も信楽で制作されたものです。

同展は9月23日まで行われ、岡本氏の作品の他、パプアニューギニアの土器や、信楽の小学生の作品など約100点の陶芸作品が展示されます。



▲岡本氏の「午後の日」を鑑賞する来場者



▲カラーセラピーを受ける参加者